

図書館 だより

24

甲子園大学図書館

2019年3月24日発行

マンガから本へ

心理学部特任教授 瀧上凱令

これまで若い人たちに本を読むことを薦めるとき、役に立つということを強調してきました。しかしながら、本を読まない人が増えている現状や、読む人はたくさん読むけれど読まない人はまるで読まないという二極化などを考慮すると、考え直さないといけないのではないかと思うようになりました。

毎日新聞社が毎年行っている読書世論調査があります。2018年版の『読書世論調査』によると、学生で普段、書籍（単行本、文庫、新書）を「読む」人は46%、「読まない」人は54%です。読むと答えた人の1か月に読む冊数は3.8冊ですから、読む人と読まない人が大きく分かります。こんな結果を見ると、本を読まない人に本を読むのは面白いということを感じてもらうのが大切なのではないかと思うようになりました。ところが、何を面白いと感じるかは人によってまるで違ってきます。薦めようがありません。一方、同じ調査によると、マンガを読む人は若い世代ほど多く、10代後半で8割近く、20代で73%です。こんなところから本を読むということに繋がらないかと考えてみました。これにゲームや映画を加えるとさらに多くなります。マンガをきっかけに本を読むようになった、ゲームや映画をきっかけに本を読むようになったということがあればいいなと思っています。

私は一昨年の11月に腰を痛めました。数か月間病院に通った後、治ったわけではありませんが、これ以上は医療では無理ということで治療を終了しました。後は歩くことを薦められました。そこで昨年の春から、休みの日は近所を歩くことにしました。40～50分ばかり歩くと腰にこたえてきますから、帰ってベッドに横になって休憩します。眠ってしまうこともあります。そうでないときは退屈です。そこで、本を読むことにしました。寝床に横になって読むのですから、文庫か新書です。

まず三国志を読みました。三国志はマンガになったり、ゲームになったり、映画「レッドクリフ」が評判になったりしています。私も主な登場人物の名前くらいは知っていましたが、読んだことはありませんでした。まず吉川英治の『三国志』（文庫・8巻）を読んでみました。三国志には、正史「三国志」とそれを小説化した「三国志演義」がありますが、これは「三国志演義」をもとに書かれたものです。設定が分かりやすく、読みやすい本でしたが、ちょっと物足りません。そこで宮城谷昌光の『三国志』（文庫・12巻）を読んでみました。読み

にくい本でした。もともと三国志の登場人物は多いのですが、多すぎて全体が分かりにくいという印象でした。そこでさらに北方謙三の『三国志』（文庫・13巻）を読みました。物語としてはこれが一番面白いと思いました。後の二つは「正史」をもとにしたものです。正史というのは歴史を記したのですが、正しい歴史ということではありません。勝者が自らの勝利を正当化して話した歴史ということです。

「三国志」には邪馬台国の卑弥呼が朝貢したことが記されているとどれかの解説に書かれておりました。通常「魏志倭人伝」、正確には「三国志 魏書」の「烏丸鮮卑東夷伝倭人条」というところだそうです。三国志も邪馬台国の卑弥呼も知っていましたが、それを結び付けて考えたことはありませんでした。こんな時代に中国と交流があったんだと気が付いて、今度は古代史についての新書本を何冊か読んでみました。

なるほど、この時代の倭国と朝鮮半島や中国との間には後の時代よりもはるかに密接な関係があり、それが倭国の政治情勢に大きな影響を与えていたということ分かりました。そこから今度は、ヤマト王権の支配がどのように確立していったのかということに関心が出てきて、古代史の新書本をさらに何冊か読みました。何を面白いと思うかは人によって違います。興味の広がり方も人によってさまざまです。私の興味の広がり方は連鎖型というか芋づる型です。

「水滸伝」もマンガやゲームや映画になっているそうなので、マンガを読んだことがある人やゲームを楽しんだことがある人は読んでみてはいかがでしょうか。アニメ「火垂るの墓」も評判になりました。そこで野坂昭如の原作を読んでもみようと思っている人がいるかもしれません。文庫本にもなっていてすぐにでも手に入りますが、まずは図書館で読むことをお勧めします。独特の文体でなかなか手ごわいからです。それはともかく、本を読むきっかけはいろんなところに転がっています。それを生かして本が面白いということを経験していただければと思います。

世の中の物事は 100 パーセント正しいとか、100 パーセント間違っているということはほとんどありません。こっちの方が少し良いとか、こっちは良いけれど良くない部分が多いとかで、その中のどれを選ぶかという選択をしなければなりません。その時に色んな立場や側面から考えられるということが大切になってきます。「白紙で物事を考える」という言い方がありますが、白紙では物事は考えられません。しかし、一面的な先入観で判断しては判断を誤ります。色んな立場から、色んな側面から見て判断することが大切です。そして物事を多面的に見るには知識が必要です。本は知識の大きな源の一つです。一人でも多くの人が本を好きになってくれることを期待しています。



図書館利用案内



利用者カード

- 学生証と併用です。在学中有効です。
- 図書の貸し出しのとき必要です。
- 教職員のカードは、図書館で保管しています。

開館時間

- 平日 8:45 ~ 18:00 (休業中は 17 時)
- 土曜日 8:45 ~ 12:00 (隔週)
- ※ 臨時に開館時間を変更する場合は、
図書館内の掲示によりお知らせします。

利用資格

- 本学教職員
- 本学学生
- 聴講生・研究生・科目等履修生
- 一般市民 (ただし貸出不可)

学外貸出

- 借りる本と学生証をカウンターに提示して
貸出手続きをして下さい。
- 貸出手続きは、閉館 10 分前までに済ませて下さい。
- 手続きしないで本を持ち出すと、ゲートでブザーが
鳴り、持ち物を調べることになります。

貸出冊数及び期間

区分	貸出冊数	貸出期間
学部生他	5 冊以内	1 週間以内
大学院生	10 冊以内	2 週間以内
職員	20 冊以内	2 ヶ月以内

- 予約がなければ、1 回のみ貸出の更新ができます。
- 夏季・冬季・春季休業期間は、長期貸出になり
貸出冊数も倍になります。
- 卒論・実習等で必要と認められた場合には、
特別貸出として期間を延長できます。
- 辞書・事典等の参考図書は貸出できません。
館内閲覧か、必要部分をコピーして利用して下さい。

休館日

- 隔週の土曜日
- 日曜・祝祭日
- 学院創立記念日 (5 月 1 日)
- 図書館休館日 (11 月 2 日)
- 年末年始 (掲示にてお知らせします。)
- 学院追悼式の日 (3 月 3 日)
- その他館長が必要と認めたり
(掲示にてお知らせします。)



国立情報学研究所のサービスが利用できます



国立情報学研究所 (Nii) は、研究に必要な情報を総合的に検索できるサービスを提供しています。探している本が大学の図書館にない時、ほしい論文がどの雑誌に掲載しているのかわからない時など、Nii の学術情報サービス (<http://www.nii.ac.jp/service/general/>) から調べることができます。

大学のホームページ (<http://www.koshien.ac.jp/>) → 大学案内
→ 図書館 → 情報検索

【Nii の学術情報を総合的に提供するサービス】

- 日本の論文・大学図書館の本を探す・・・CiNii Articles
- 色々な手がかりから本・雑誌を探す・・・WebcatPlus
- 研究課題・成果を探す・・・KAKEN (科学研究費補助金データベース)
- 学術研究データベースを探す・・・NII-DBR (学術研究データベース・リポジトリ)
- 教育・研究成果を探す・・・JAIRO (学術機関リポジトリポータル)

【その他】

- 現行法規や法律判例の検索・・・法情報総合データベース【D-1Law.com】
- 電子ジャーナルの論文検索・・・NII-REO (NII 電子ジャーナルリポジトリ)
- 研究機関・研究者等の検索・・・Read & Researchmap
- 日本の学協会のリンク集・・・学協会情報発信サービス

大学の図書館にない本や雑誌論文は、他大学の図書館から取寄せることができます (実費必要)。
カウンターでお申込みください。



インターネットを使い、家のパソコンからでも図書館の本を調べることができます

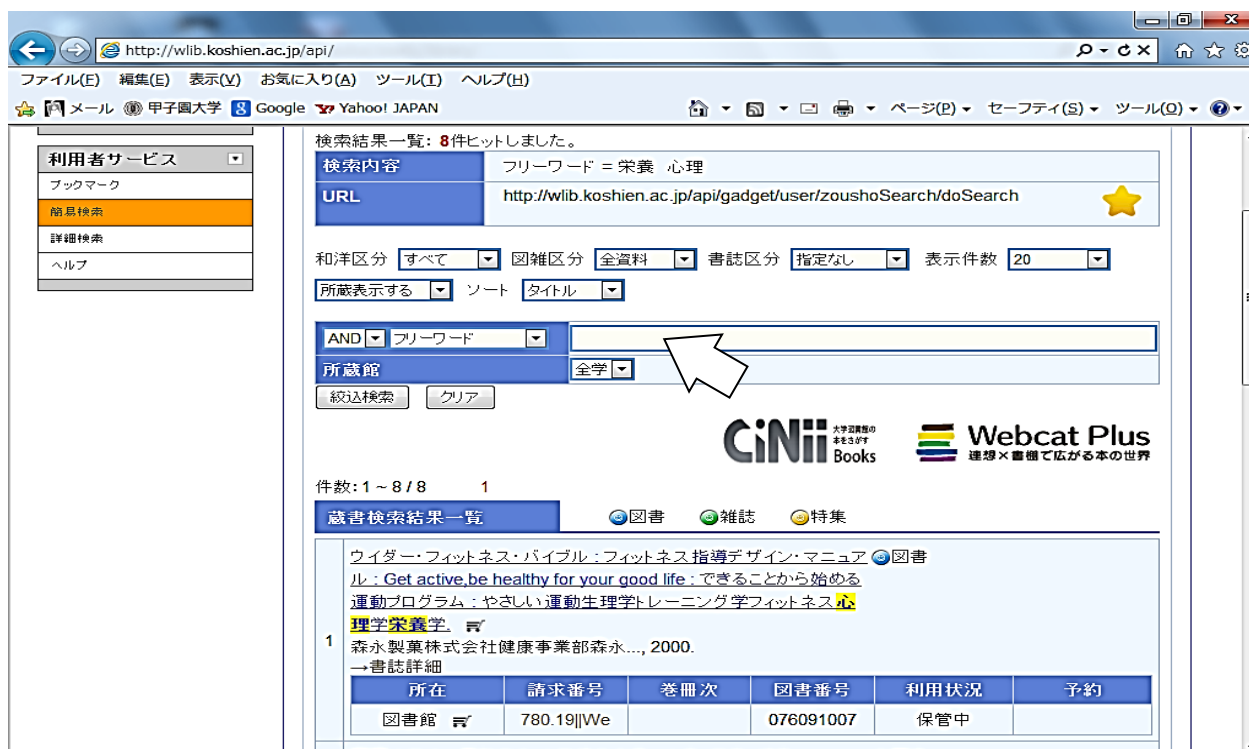


大学のホームページ (http://www.koshien.ac.jp/) → 大学案内 → 図書館
→ 蔵書検索システム (OPAC) → 簡易検索



[フリーワード]の欄に検索語(書名の一部、著者名、出版社、キーワードなど)を入力して[検索]をクリックする。

(例) 検索欄に「栄養 心理」と入力して[検索]をクリックする。

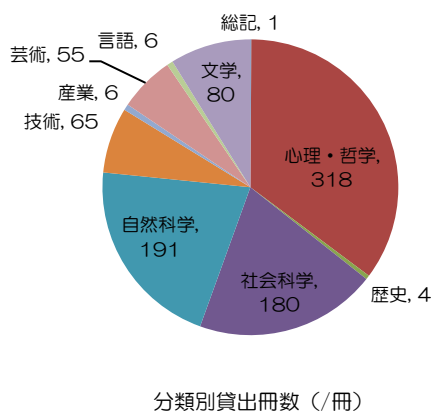
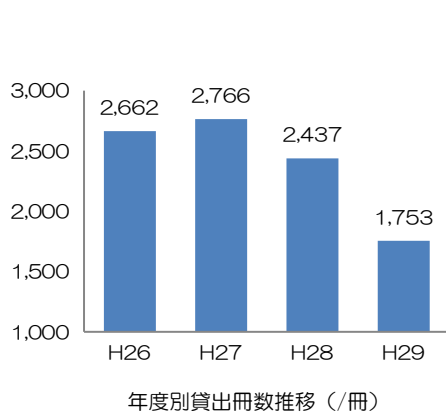


「栄養 心理」に関する図書が表示されるので、該当する図書の「請求記号」(請求番号)の欄で図書を見つけることができます。

「利用状況」が「貸出中」の場合、予約ができます。

2017年度図書館利用統計

開館日数	平日：235日 土日：21日 合計：256日
入館者数（学内/学外）	学内：18,451名 学外：98名 合計：18,549
貸出冊数	累計：1,753冊（年度推移、分類別貸出冊数は下記グラフ参照）
学外相互協力（ILL）（依頼/受付）	[図書] 受付：3件 依頼：1件 [複写] 受付：204件 依頼：36件
蔵書冊数（雑誌含む）	図書蔵書数：127,399冊 雑誌契約数：69タイトル（和：54 洋：15）
電子ジャーナル・データベース数	電子ジャーナル：10 データベース：1



2018年度アンケート結果

回収率	栄養学科：81.5% 心理学科：70.7%
図書館の利用の有無	有：93% 無：7%
学外相互協力（ILL）利用の有無	有：6% 無：94%
図書館の夜間利用の有無	有：32% 無：66% 無回答：2%
図書館の利用方法の認知	有：62% 無：38%

自由記述

- ・コピー機が小銭でも使えるようになってほしい。
- ・もっと小説をおいてほしい
- ・コーヒーが置いてあればいいなと思う
- ・グループで勉強する人の私語がめだつことがある。グループと個人としっかりわけてほしい
- ・QBの本が最新版が少なく、いつも借りられているため、もう少し増やしてほしい。
- ・ポップ等があると、興味を持って、手にとってもらえるのではないだろうか。
- ・もっと勉強以外の本があれば、気軽に入りやすくなると思います
- ・もう少し幅広いジャンルの資格の本が読みたい

第1回 図書館POP大賞の開催

より気軽に、より積極的に図書利用をして
貰えるように読書感想文からPOP制作へ形を
変えた「図書館POP大賞」を開催しました。
2018年12月に行われた表彰式には多くの方
にご参加いただき、吹奏楽部の演奏も行われ
大変華やかに行うことができました。
応募者総数25名の中から見事、最優秀賞を
取った本は「星の王子様」でした。



「図書館POP大賞」図書リスト

第1回 図書館POP大賞 応募作品の一覧です。作品のほとんどは
図書館に所蔵があります（蔵書検索システムで検索ができます）。

著者	書名
『このミステリーがすごい!』大賞編集部	10分間ミステリー
フリードリヒ・ヴィルヘルム・ニーチェ・	超訳 ニーチェの言葉
住野よる	君の臍臓をたべたい
藤野恵美	僕の嘘
いぬじゅん	いつか、眠りにつく日
川口晴	犬と私の10の約束
七月隆文	ぼくは明日、昨日のきみと、デートする
彩瀬まる	くちなし
榎宮祐	ノーゲーム・ノーライフ
サン=テグジュペリ	星の王子さま
佐野洋子	100万回生きたねこ
日向夏	薬屋のひとりごと
日本能率協会マネジメントセンター	仕事が早くなる!ノート・メモ・手帳&文具術

著者	書名
新海誠	君の名は。
森絵都	カラフル
水野敬也	夢をかなえるゾウ2
堀江貴文	多動力
鳥居真知子	ピラカンサスの実るころ
西多昌規	爆睡術
新海誠	言の葉の庭
伊坂幸太郎	グラスホッパー
塚本亮	「すぐやる人」と「やれない人」の習慣
米澤穂信	氷菓
J.K.ローリング ほか	ハリーポッターと呪いの子
水野敬也	夢をかなえるゾウ (2名による共作)